

救急災害医学・救急部

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	1 人	(1 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	4 人	(2 人)
診療助教	2 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	8 人	

2 教員の異動状況

吉野篤人（教授）（平成 25 年 5 月 1 日～現職）

望月利明（講師）（平成 21 年 4 月 1 日～現職）

栗山 茂（助教）（平成 24 年 4 月 1 日～現職）

齊藤岳児（助教）（平成 24 年 4 月 1 日～現職）

高橋善明（助教）（平成 25 年 10 月 1 日～現職）

穂積宏尚（助教）（平成 25 年 8 月 1 日～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	7.22	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)

(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	2 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	1.70	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Toshiaki Mochizuki, Qiliang Jiang, Takasumi Katoh, Katsunori Aoki, Shigehito Sato Quality of cardiopulmonary resuscitation affects cardioprotection by induced hypothermia at 34°C against ischemia/reperfusion injury in a rat isolated heart model. Shock 39(6): 527-532, 2013 [2.87]
2. Saitoh T, Satoh H, Kumazawa A, Nobuhara M, Machii M, Tanaka T, Shiraki K, Saotome M, Urushida T, Katoh H, Hayashi H: Ultrasound analysis of the relationship between right internal jugular vein and common carotid artery in the left head-rotation and head-flexion position • Heart Vessels.; 28(5): 620-5. 2013 Sep [2.12]

インパクトファクターの小計 [4.99]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Ohba K, Sasaki S, Oki Y, Nishizawa S, Matsushita A, Yoshino A, Suda T, Nakamura H, : Factors associated with fluorine-18-fluorodeoxyglucose uptake in benign thyroid nodules. Endocrine Journal Vol. 60 (2013) No. 8 p. 985-990 [2.23]

インパクトファクターの小計 [2.23]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総説

(4) 著書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 齊藤岳児, 佐藤洋, 林秀晴, 竹原康雄: シリーズ血流を診る 4) IRI さまざまな血流の表現、検査と技術、医学書院、東京、pp19-24、2014

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Mochizuki T, Kamio Y, Hosokawa S, Kimura T, Yoshino A, : Brain infarction after dissection of the intra thoracic arteries secondary to acute epiglottitis. American Journal of Emergency Medicine 31(2), 608-611 [1.70]
2. 望月利昭, 山下和範, 松島久雄, 吉野篤人 : IO (骨髄穿刺) 実践セミナーおよび超音波カラー

ドップラー骨髄穿刺針位置確認法の紹介. 日本臨床麻酔学会誌 34(3):426-9, 2014 [0]
 インパクトファクターの小計 [1.70]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成 25 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 25 年度
（1）文部科学省科学研究費	1 件 （384 万円）
（2）厚生労働科学研究費	0 件 （0 万円）
（3）他政府機関による研究助成	0 件 （0 万円）
（4）財団助成金	0 件 （0 万円）
（5）受託研究または共同研究	0 件 （0 万円）
（6）奨学寄附金その他（民間より）	0 件 （0 万円）

（1）文部科学省科学研究費

1. 齋藤岳児：基盤研究C、脈Iを用いた心腔内血流の解析、平成25年度～平成27年度、384万円

（2）厚生労働科学研究費

（3）他政府機関による研究助成

（4）財団助成金

（5）受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
（1）特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
（2）シンポジウム発表数	1 件	1 件
（3）学会座長回数	0 件	0 件
（4）学会開催回数	0 件	0 件
（5）学会役員等回数	0 件	0 件
（6）一般演題発表数	2 件	

（1）国際学会等開催・参加

1) 国際学会・会議等の開催

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Takeji S, Hiroshi S, Mamoru N, Kenichiro S, Makoto S, Masao S, Tsuyoshi U, Hideki K, Yusuke O, Yumi K, Yoshiaki T, Kenji O, Hideki K, Toshiaki M, Atsuto Y, Hideharu H : Comparison of inferior vena cava as estimated of volume between two-and three-dimensional echocardiography ・ The 7th Asian Conference on Emergency Medicine. October23-25,2013,Tokyo.

4) 国際学会・会議等での座長

5) 一般発表

口頭発表

1. Mochizuki T, Ueno M, Kuriyama S, Ohba K, Saitoh T, Watanabe T, Tkahashi Y, Matsushita Y, Yoshino A : A case of asymptomatic posterior reversible encephalopathy syndrome with subcortical hemorrhage during perinatal period : The 7th Asian Conference on Emergency Medicine. October, 2013,Tokyo

ポスター発表

1. Saitoh T, Suwa K, Takehara Y, Sano M, Nobuhara M, Saotome M, Urushida T, Katoh H, Satoh H, Alley M, Sakahara H, and Hideharu Hayashi H : Left Atrial Volume is Associated With the Intra-left Atrial Vortex Formation:Analysis With Phase-resolved Three-dimensional Cine Phase Contrast MRI(4D-FlowMRI).American Heart Association's Scientific Sessions 2013, November 16-20,2013,Dallas (米国) .

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

3) シンポジウム発表

1. 要望演題「消化器外科医に求められるAcute Care Surgery」日本消化器外科学会、2013年7月、宮崎

4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 25 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道